

別記第1号様式(第6条関係)

ばい煙に係る特定施設設置(使用、変更)届出書

年 月 日

新潟市長 様

住所  
届出者 氏名 ( ) 印

新潟県生活環境の保全等に関する条例第14条第1項(第15条第1項、第16条第1項)の規定により、ばい煙に係る特定施設について、次のとおり届け出ます。

工場等の名称		※ 整理番号	
工場等の所在地		※ 受理年月日	年 月 日
ばい煙に係る特定施設の種類		※ 施設番号	
ばい煙に係る特定施設の構造	別紙1のとおり	※ 審査結果	
ばい煙に係る特定施設の使用の方法	別紙2のとおり	※ 備考	
ばい煙の処理方法	別紙3のとおり		

備考

- ※印の欄には、記載しないこと。
- ばい煙に係る特定施設の種類の欄には、新潟県生活環境の保全等に関する条例施行規則別表第1に掲げる項番号及び名称を記載すること。
- 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 氏名又は代表者の氏名については、記名押印又は署名のいずれかにより記載すること。

添付書類

- ばい煙の排出の方法
- ばい煙に係る特定施設及びばい煙の処理施設の設置場所
- ばい煙の発生及びばい煙の処理に係る操業の系統の概要
- 煙道に排出ガスの測定箇所が設けられている場合は、その場所
- 緊急連絡用の電話番号その他緊急時における連絡方法

## 別紙1

## ばい煙に係る特定施設の構造

工 場 等 に お け る 施 設 番 号			
名 称 及 び 型 式			
設 置 年 月 日		年 月 日	年 月 日
着 手 予 定 年 月 日		年 月 日	年 月 日
使 用 開 始 予 定 年 月 日		年 月 日	年 月 日
規          模	伝 熱 面 積 (m <sup>2</sup> )		
	バーナーの燃料の燃焼能力 (重油換算 l/h)		
	原料の処理能力(t/h)		
	ごう 火格子面積又は羽口面断面積(m <sup>2</sup> )		
	変圧器の定格容量(KVA)		
	触媒に附着する炭素の燃焼能力 (kg/h)		
	焼 却 能 力(kg/h)		
	乾 燥 施 設 の 容 量(m <sup>3</sup> )		
	電 流 容 量(KA)		
	ポ ン プ の 動 力(KW)		

## 備考

- 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 当該施設の主要寸法を記入した構造概要図を添付すること。

## 別紙2

## ばい煙に係る特定施設の使用の方法

工場等における施設番号							
使用状況	1日の使用時間及び1月の使用時日数等	時間	時～時	回/日	回/月	時間	時～時
	季節変動						
原材料 (ばい煙の発生に影響のあるものに限る。)	種類						
	使用割合						
	原材料中の成分割合(%)	いおう分 カドミウム分	鉛分 ふっ 弗素分			いおう分 カドミウム分	鉛分 ふっ 弗素分
	1日の使用量						
燃料 又は 電力	種類						
	燃料中の成分割合(%)	灰分	い お う 分			灰分	い お う 分
	発熱量						
	通常の使用量(1/h)						
	混焼割合						
排出ガス量(Nm <sup>3</sup> /h)		最大	通常			最大	通常
排出ガス温度(℃)							
ばい煙の濃度	ばいじん(g/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常			最大	通常
	いおう酸化物(容量比ppm)	最大	通常			最大	通常
	カドミウム及びその化合物(mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常			最大	通常
	塩素(mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常			最大	通常
	塩化水素(mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常			最大	通常
	ふっ 弗素 ふっ 弗素 及び ふっ 化 珪 素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常			最大	通常
	鉛及びその化合物(mg/Nm <sup>3</sup> )	最大	通常			最大	通常
ばい煙の量	いおう酸化物(Nm <sup>3</sup> /h)	最大	通常			最大	通常
参考事項							

## 備考

- 1 原材料の成分割合(%)の欄及び燃料中の成分割合(%)の欄の記載にあたっては、重量比(%)又は容量比(%)の別を明らかにすること。
- 2 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 3 ばい煙の濃度は、ばい煙の処理施設がある場合は、処理後の濃度とすること。
- 4 ばい煙の排出状況に著しい変動のある施設については、参考事項の欄に一行程中の排出量の変動の状況を記載すること。

## 別紙3

## ば い 煙 の 処 理 の 方 法

ばい煙の処理施設の工場等における 施設番号					
処理するばい煙に係る特定施設の工 場等における施設番号					
ばい煙の処理施設の種類名称及び型 式					
設 置 年 月 日			年 月 日	年 月 日	
着 手 予 定 年 月 日			年 月 日	年 月 日	
使 用 開 始 予 定 年 月 日			年 月 日	年 月 日	
処 理 能 力	排出ガス量(Nm <sup>3</sup> /h)	最 大			
		通 常			
	排出ガス温度(℃)	処理前			
		処理後			
	ば い 煙 の 濃 度	ば い じ ん (g/Nm <sup>3</sup> )	処理前		
			処理後		
		い お う 〔容量比〕 酸 化 物 (ppm)	処理前		
			処理後		
		カドミウム及びそ の化合物 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前		
			処理後		
		塩 素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前		
			処理後		
		塩 化 水 素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前		
			処理後		
		ふつ ふつ 弗素弗化水素及び ふつ けい 弗化珪素 (mg/Nm <sup>3</sup> )	処理前		
			処理後		

		鉛 及 び そ の 化 合 物 (mg/Nm <sup>3</sup> )		処理前		
				処理後		
	ばい煙の量	いおう酸化物 (Nm <sup>3</sup> /h)	最大	処理前		
				処理後		
			通常	処理前		
				処理後		
	捕集効率率(%)	ば い じ ん				
		い お う 酸 化 物				
		カドミウム及びその化合物				
		塩 素				
塩 化 水 素						
ふつ ふつ ふつ けい 弗素、弗化水素及び弗化珪素						
鉛 及 び そ の 化 合 物						
使 用 状 況	1日の使用時間及び1月の使用時日数等		時～時 時間 /回 回/日 回/月	時～時 時間 /回 回/日 回/月		
	季 節 変 動					
排 出 口 の 実 高 さ Ho (m)						
補 正 さ れ た 排 出 口 の 高 さ He (m)						
排 出 速 度 (m/s)						

備考

- 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
- 2 ばい煙の濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
- 3 ばい煙の処理施設の構造図及びその主要寸法を記入した概要図を添付すること。